

第2学年 建築設計製図（人権）学習指導案

- 1 主 題 基本的人権の尊重
～課題住宅平面図からユニバーサルデザイン住宅を考える～

2 主題設定の理由（省略）

3 ね ら い

建築物の企画や計画については、ノーマライゼーションの理念に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、あらゆる人に配慮した設計を行うことが重要となる。本課題住宅平面図について考えることを通して、誰しものが快適に暮らすことができるユニバーサルデザインを行う専門技術者として高い人権意識と倫理観を育む。

4 指 導 計 画

（1）これまでの学習

住宅の製図（住宅の設計製図）・・・・・・・・・・15 時間

バリアフリーとユニバーサルデザインについて・・・・・・1 時間

（2）本時の学習

基本的人権の尊重

～課題住宅平面図からユニバーサルデザイン住宅を考える～・・・・・・1 時間

（3）これからの学習

設計課題（4 間角の家・卒業設計）作品製作・・・・・・・・・・10 時間

5 本 時 の 学 習

（1）目 標

- ① ユニバーサルデザインについて理解することで、必要となる設計上の配慮を考察し、誰もが暮らしやすい環境を設計していこうとする意欲を高める。
- ② 建築物の企画や計画に関する人権上の課題に気づき、互いの意見を尊重して考え、ノーマライゼーションの理念に基づき誰もが快適に生活できる建築空間を創出し改善していこうとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ・・・・・・・・基本的人権の尊重

(3) 展 開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	○本時の学習内容について確認する。	○様々な人の人権に配慮した建築設計が重要であることを伝え、学習の方向付けをする。	
展開 (35分)	<p>○身近なものからユニバーサルデザインについて考える。</p> <p>○ワークシート②の設計図から見える問題点を考える。</p> <p>○グループで設計図から見えてくる問題点と改善する対策について話し合い、設計内容をまとめる。</p> <p>○発表支援アプリを利用し、グループでの設計内容を代表者が発表する。</p>	<p>○ワークシート①を活用し、身近にあるユニバーサルデザインについて、あらゆる人を対象にし、誰にとっても使いやすい工夫がされていることを考えさせる。</p> <p>○ワークシート②の作業方法を示し、様々な視点から見えてくる問題点について考えさせる。</p> <p>○互いの意見を認め合い、人権上配慮が必要とされる設計について確認させる。</p> <p>○発表で出た意見や他グループの意見をワークシートにまとめる。</p>	<p>○ユニバーサルデザインについて理解することで、誰もが暮らしやすい環境を設計していこうとする意欲が高まったか。 (価値的・態度的側面)</p> <p>○ノーマライゼーションの理念に基づき誰もが快適に生活できる建築空間を創作し改善していこうとする意欲が高まったか。 (価値的・態度的側面)</p>
まとめ (10分)	○本時の学習を振り返り、感想をまとめる。	○本時の学習内容の振り返りをさせ、建築専門技術者として高い人権意識と倫理観を育み、それをもって、住宅設計に取り組んでいく必要性を理解させる。	